

## 講演資料

鳴門教育大学「10年経験者研修モデルカリキュラム開発」に関する講演会  
**パフォーマンス課題の設定と  
ルーブリックの作成**

(2008年7月7日、於 鳴門教育大学地域連携センター)  
京都大学大学院教育学研究科・准教授  
西岡加名恵

### はじめに

1. パフォーマンス課題とは何か
2. 「逆向き設計」論にもとづく  
パフォーマンス課題の作り方
3. ルーブリックの作り方と活かし方
4. いくつかの検討事項

### 1. パフォーマンス課題とは何か

#### (1) 従来型の筆記テスト・実技テストと パフォーマンス課題の比較

##### 筆記テスト・実技テスト

- 教習所でのコース練習
- 漢字練習、段落分けの練習
- 計算問題
- ガスバーナーの操作
- ドリブルの練習
- 運指練習

##### パフォーマンス課題

- 路上検定
- 論説文の執筆
- ペンキ塗りにかかる費用の算出
- 実験の計画・実施・報告
- バスケットボールの試合
- 曲の演奏

#### (2) パフォーマンス課題とは・・・

- リアルな文脈の中で、様々な知識やスキルを使いこなすこと(応用・総合しつつ何らかの実践を行うこと)を求めるような課題。具体的には、レポートや新聞といった完成作品や、プレゼンテーションなどの実技・実演を評価する課題など。

→アメリカの事例紹介

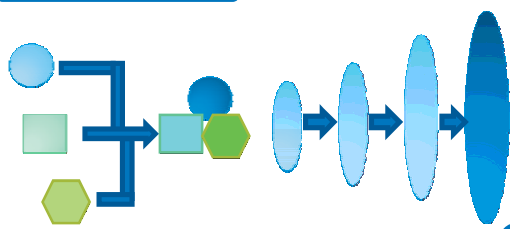
### (3) パフォーマンス課題のパターン

←英米の事例

(単元内、単元間の構造)

##### パーツ組み立て型

##### 繰り返し型



### (4) パフォーマンスの種類

##### プロダクト (完成作品)

- 論説文の執筆
- 歴史新聞
- レポート
- 観察記録
- 指導案
- 研修計画

##### プロセス (実技・実演)

- グループでの話し合い
- プレゼンテーション
- 量の測定
- 実験の計画・実施・報告
- 模擬授業
- ロールプレイ

### (5) 知識・技能を活用する学習活動

(2008年1月17日答申、P.25)

- ① 体験から感じ取ったことを表現する
- ② 事実を正確に理解し伝達する
- ③ 概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする
- ④ 情報を分析・評価し、論述する
- ⑤ 課題について、構想を立て実践し、評価・改善する
- ⑥ 互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる

7

### (6) パフォーマンス課題作りの難しさ

- ① 「一問一答」で終わってしまい、総合する機会を与えていない。
- ② 活動させてはいるが、「問い」を明確に意識していない。
- ③ 単元のねらいに照らし合わせると、最重要課題というわけではない(あまり「本質的」とはいえない)課題を与えている。
- ④ 「問い」を投げかけて終わり。どんな水準のパフォーマンスを求めているのか、はっきりしない。

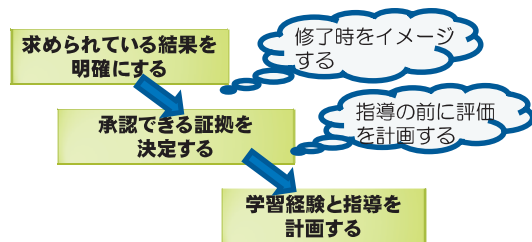
8

### (7) 「逆向き設計論」とは何か

- ウィギンズとマクタイが提唱するカリキュラム設計論  
(Wiggins, G. & McTighe, J., *Understanding by Design*, ASCD, 1998/2005)
- パフォーマンス課題を活用する単元設計(ミクロの設計)や長期的な指導計画の設計(マクロの設計)に、具体的な指針を与えてくれる理論。  
→「思考力・判断力・表現力等」の育成と評価

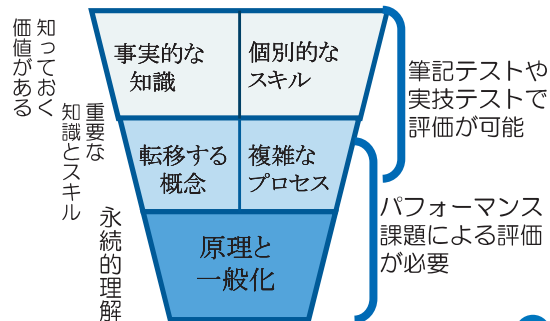
9

- なぜ「逆向き」と呼ばれるのか？



10

### (8) 「知の構造」と評価方法



McTighe, J. & Wiggins, G., *Understanding by Design: Professional Development Workbook*, ASCD, 2004, p.65

11

### 理解(UNDERSTANDING)

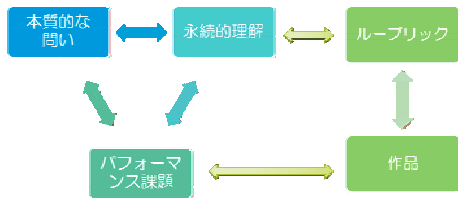
- 洗練された柔軟なやり方で知識とスキルを使える状態

#### 永続的理解

- いろいろな場面で役立つ(転移する)内容
- 大人になっていても覚えてほしい理解
- 学問の中核部分(繰り返し登場する内容)
- 子どもが誤解しやすい内容

12

## 2. 「逆向き設計」論にもとづくパフォーマンス課題の作り方



13

### (1) 「本質的な問い」を考える

#### 「本質的な問い」の例

1. 立場や境遇を越えて、友情は成立するか？
2. その国の特徴は、どのように捉えられるのか？
3. 自然や社会の中にある、ともなう変わる2つの数量の関係はどのように捉えられるのか？
4. 星は天球上をどのように動くのだろうか？
5. この音楽のイメージは、どのように捉えられるのか？

#### 「本質的ではない問い」の例

1. 閩土は、なぜ「だんな様！」と言ったのか？
2. 中国の人口は何人か？
3. 品物の値段と消費税の関係は、比例か？
4. 今日の日出の時刻は何時か？
5. この曲の名前は何か？

14

### ■事例紹介

[例] 中学校2年生社会科(歴史的分野)

「開国と近代日本の歩み」

1. 欧米の進出と日本の開国  
近代革命の時代、産業革命と欧米諸国、ヨーロッパのアジア侵略、開国と不平等条約、江戸幕府の滅亡
2. 明治維新  
新政府の成立、維新の三大革命、文明国をめざして、近代的な国際関係、民権運動の高まり、立憲国家の成立

15

例1. 中学校2年生社会科(歴史的分野)  
(横浜国立大学附属横浜中学校 三藤あさみ教諭)

#### 本質的な問い

明治維新によって、日本社会はどのように変化したのか。明治維新後の日本において、人々が幸福で平和に暮らせる社会を築くには、どうすればよかったのか。

16

### (2) 「永続的理解」を明文化する

- 「永続的理解(原理・一般化)」は必ず完全な文(「～は、～である。」)として書く。

×「南北戦争の原因がわかる。」

○「南北戦争は、州の権利と論点、南北の根本的な経済的・文化的差異、奴隷制についての分断された意見といった複数の要因によって勃発した。」

×「速く泳ぐ方法がわかる。」

○「速く泳ぐためには、引っ張って、押す水の量を最大にするため、手のひらを平らにすることが大切である。」

17

例1. 中学校2年生社会科(歴史的分野)  
(横浜国立大学附属横浜中学校 三藤あさみ教諭)

#### 永続的理解

「明治維新という政治改革の背景には、欧米における市民革命、産業革命とアジアへの進出からの影響、貨幣経済発展を想定していない幕藩体制や年貢制度の矛盾など国内外の様々な要因があった。」

また日本が近代国家として国際的地位を向上するために、積極的に欧米文化を摂取し、廃藩置県、富国強兵政策、殖産興業、地租改正、学制の公布など様々な改革を行った。その結果工業のめざましい発展や身分制度の廃止、民主政治の発展など正の側面がみられた反面、公害や労働問題の発生、帝国主義萌芽による大陸進出など負の側面もあらわれた。」

18

**(3) 課題のシナリオを作る**  
 ◎シナリオ作りの6要素 (GRASPS)

- な—何が目的 (Goal) か？
  - や—(子どもが担う) 役割 (Role) は何か？
  - だ—誰が相手 (Audience) か？
  - アア
  - そ—想定されている状況 (Situation) は？
  - う—生み出すべき完成作品・パフォーマンス (Product, Performance) は？
  - か—(評価の) 観点 (Standard, criteria) は？
- ※必ずしも使わなくてもOKです。

19

**例 1. 中学校 2 年生 社会科 (歴史的分野)**  
 (横浜国立大学附属横浜中学校 三藤あさみ教諭)

**パフォーマンス課題**

時は1901年、20世紀の始まりです。あなたは明治時代の新聞社の社員たちであり、社会が大きく変化してきた明治維新を記念する社説を書くことになりました。社説は、当時を生きる人々(政治家、産業界の人々、文化人、一般の人々)に向けた新聞社からのメッセージです。

話し合いの内容や今までの学習を振り返り、今後の改革のあり方について重要だと考えることを提案してください。

20

**3. ルーブリックの作り方と活かし方**  
 (1) ルーブリック

	原理・一般化に関する理解	資料活用のスキル・プロセス
5	社会的な事象について、政治・経済・文化・人口・地形などの構成要素から3つ以上の視点をもつことができる。これらの視点を総合的に関連付けて多角的に分析し、最適で詳細かつ具体的な根拠をあげて、非常に説得力のある主張を組み立てることができる。	主張を明確にするために最適な資料を複数選択して、多角的に関連づけて、非常に説得力のある論述を行うことができる。
3	社会的な事象について、政治・経済・文化・人口・地形などの構成要素から2つ以上の視点をもつことができる。これらの視点を関連づけて分析し、具体的な根拠をあげて明確な主張を述べることができる。	複数の資料を関連づけたがら論述を行うことができる。
1	社会的な事象について、政治・経済・文化・人口・地形などの構成要素から事実を述べることはできる。しかし、断片的に羅列しているだけであり、主張と根拠を結びつけることに困難が見られる。	基本的な資料の読み取りや作成に困難をきたしている。

21

**(2) ルーブリックの作り方**  
 ①お互いの採点がわからないように、作品を採点する。



22

**②似た採点がついた作品を集め、特徴について話し合う。**



23

**(3) 予備的なルーブリックの作り方**

- ① 4段階の観点別ルーブリックのテンプレートを用意する。
- ② 評価の観点を定める。  
「素晴らしい\_\_\_\_\_の条件は何か」
- ③ それぞれの評価の観点に対応する記述語を書く。

効果の程度	頻度の程度	独立の程度
非常に効果的 かなり効果的 いくらか効果的 効果的ではない	常に、継続的に 頻繁に、一般的に 時々、時に めったに~ない	独立して 最小限の支援のもとで いくらかの支援を必要と しつつ かなりの支援を必要と しつつ

24



My Opinion

Theme : Baseball is popular in Japan.

I think baseball is popular in Japan.

Because there are many professional baseball fans in Japan.

Besides there are many children playing baseball.

I think this is because they like baseball.

So I think baseball is popular in Japan.

I like watch baseball very much.

Thank you.

①

Practice English

Tezuka Osamu

I want to say about Tezuka Osamu is a cartoonist. He who drew Astro Boy, Black Jack, etc is the most famous cartoonist in Japan. His name is known to everyone. I like his comics. I respect him. He was born in Osaka. He wrote many comics when he was a student, but he was teased by friends. He drew "The New Treasure Island" that had greatly influence on Fujiko Fujio and Ishinomori Shotaro. Tezuka Osamu married and his wife had a baby boy in 1959. And he built The Insect Production and drew Astro Boy, The King of the Lion. But later, The Insect Production went bankrupt. But he did never give up, and he drew Black Jack that was a very hit comic. It's popular and famous in Japan. And he visited many schools to appeal importance of life to many students. But he had a stomach cancer while he appealing importance of life. But he didn't stop it. I think it was very great. But he died in 1989. The news made many people surprised and sad. But his comics is read by many people. When I knew this story, I was very impressed. Because I think his life was very great. His comics made us thinking. So I'm going to read his comics all the time.

②

### (4) 評価から指導の改善へ

#### ① 繰り返し型

「本質的な問い」の入れ子構造

中学校社会（歴史）：社会はどのような要因で変わっていくのか。どのように社会を変えていけばいいのか。

文明はなぜ生まれるのか。この時代の日本は他の文明から何を学ばべきか。

明治維新によって日本社会はどのように変化したのか。明治維新後の日本において人々が幸福で平和に暮らせる社会を築くには、どうすればよかったのか。

戦争はなぜ起こるのか。戦争を起さない平和な国を築くためにはどうしたらよいか。

古代文明から学ぶべき点に関するレポート

明治時代の新聞の社説

模擬国際シンポジウムでの提言レポート

生徒作品 → ループリットづくり → 生徒作品 → ループリットづくり → 生徒作品

指導と評価の改善

指導と評価の改善

長期的ループリット

25

### ② パーツ組み立て型

自分の言葉で伝える

MP1 日本文化の紹介  
あなたが紹介したいものを選んで、簡単な英文で紹介しよう。

Unit 4 日本文化の紹介  
あなたが紹介したい日本文化について説明の文を書こう。

論理的に伝える

WP1 意見文を書こう  
文の構成を考えて、自分の意見を書こう。

Unit 6 私の尊敬する人  
尊敬する人について後輩たちに紹介する文章を書こう。

自分のことを伝える

MP2 私の修学旅行  
長崎の修学旅行の思い出を書こう。

夏休みの課題  
平和・環境・人物・ボランティアなどの中からテーマの一つを選んでレポートを書こう。

26

### 4. いくつかの検討事項

(1) 作業(学習活動)と評価課題が混在？

- パフォーマンス課題については、評価対象となる作品(プロダクト、プロセス)を明示する必要がある
- 練り直す機会と検討会

(2) いくつかの課題は統合できる？

- 「授業力」をめぐる4つの作業課題
- 「授業力」「生徒指導力」と「協働力」

※実行可能性

27

### 検討事項(続き)

(3) 学校外での研修での評価と、現実の文脈における評価との関係

- 職業資格

(4) ループリットの記述語

- 具体的なパフォーマンスを念頭において、具体化
- 「～がわかる」「～ができる」→その中身は？
- 基準(criteria)と徴候(indicator)の区別
- アンカー(作品例)の添付

28

### ◎ポートフォリオ評価法

ポートフォリオとは、子どもの作品、自己評価の記録、教師の指導と評価の記録などを、系統的に蓄積していくもの。ポートフォリオ評価法とは、ポートフォリオ作りを通して、子どもの学習に対する自己評価を促すとともに、教師も子どもの学習活動と自らの教育活動を評価するアプローチ。

29

### ■ポートフォリオ評価法の6原則

- ポートフォリオ作りは、子どもと教師の共同作業
- 具体的な作品(work)を蓄積する。  
完成品だけでなく、完成品を作る過程で生み出されるメモや下書き、活動の録画・録音、集めた資料なども含む。教師による書き取りや聴き取りも可。
- 蓄積された作品を整理する(取捨選択する)  
Cf. ワーキング・ポートフォリオからパーマナント・ポートフォリオへ
- ポートフォリオ検討会を行う
- 定期的にポートフォリオ検討会を行う
- 長期にわたる(継続性)

30

### ■ 検討会の進め方

- ① 問いかけによって、子どもの自己評価を引き出す。
- ② 子どもの言葉に耳を傾ける(待つ)。
- ③ 達成点を確認し、いいところを褒める。
- ④ 具体例の比較を通して、目標＝評価基準を直観的につかませる。
- ⑤ 次の目標について、合意する。
- ⑥ 確認された達成点と課題、目標についてメモを残す。

※一斉授業（作品批評会など）の形でもOK

31

### おまけ： カリキュラム改善も「逆向き設計」で！

- 年度ごとの改善目標を絞り込むことが重要。

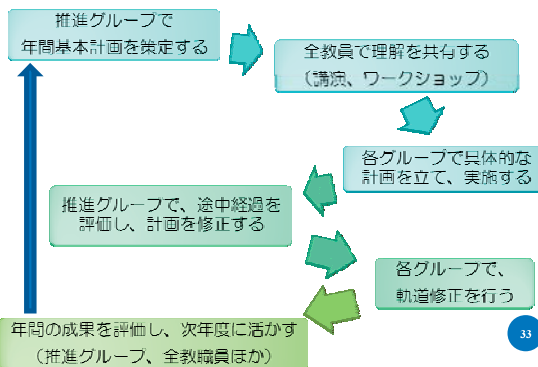


Wiggins, G. & McTighe, J., *Understanding by Design*, 2nd Ed., ASCD, 2005 ⇒

Leading by Design @Authentic Education

32

### □ カリキュラム改善・改革のための基本的な流れ



33

### ● 研究開発における「課題」の進展 ～京都市立衣笠中学校の場合

	先生方が取り組んだ課題
2005年度	各教科の代表教師が、パフォーマンス課題を少なくとも一つ作って、指導に取り入れてみる。
2006年度	教科会で協力してパフォーマンス課題づくりを行うとともに、モデル作品づくりをしてみ、指導の改善に役立てる。
2007年度	各教科会において、パフォーマンス課題に取り組んだ生徒たちが生み出した作品にもとづいてルーブリック作りを行う。また、それを踏まえて授業改善を図る。

34

### ■ 「本質的な問い」の特徴 (スライド14)

- 単純な一つの答えがない (論争的、探究を触発、様々な深まり)
- 個々の知識やスキルが総合されていくような問い
- 様々な文脈で活用できるような問い(転移)
- 単元を越えて繰り返し現れるような問い (再考を促す、転移、カリキュラムの系統性)
- 「だから何なのか？」が見えてくるような問い(学問の中核、生活との関連性など)

35

### 参考文献など

- 西岡加名恵編著『「逆向き設計」で確かな学力を保障する』明治図書、2008年。
- 西岡加名恵『教科と総合に活かすポートフォリオ評価法』図書文化、2003年。
- 京都市立衣笠中学校の公開研究会：11月7日
- 京都大学大学院教育学研究科E.FORUM 全国スクールリーダー育成研修  
<http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/e-forum/>  
→データベースも開設しています。

36



### 資料3 検討会での対話例

(Stiggins, R.J., *Student-Centered Classroom Assessment* (Second Edition), Merrill, 1997, pp.493-496.)

「ひどいもんでしょ？」とジルは先生に尋ねる。  
「君はどう思うんだい？」と、彼は同じ質問を彼女に投げ返す。彼女はすぐには答えないが、エド[先生]は沈黙を破らない。数秒たつ。エドは待つ。  
「終わりが気に入らないわ」と、ついにジルは自分から言う。  
「どうしてですか言ってごらん。」  
「だって、ただ終わってしまうんだもの。全体的に言って、私が本当に感じたようには書かれていないわ。」  
「どういう風に君は感じているんだい？」  
彼女は一分ほど考える。「そうね、私はいつでもラフのことを思い出して寂しがっているわけではないわ。全然思い出さない日だってある。だけど——ひょっとした拍子に、ドアのところにラフがいるような気がしたり、納屋の横に影が走るのを見たりするの。時々、外で料理をするときなんか、ラフのことを考える。だって、ラフったら、グリルからホットドックを取って、一度なんかパパに怒鳴られて、滑って足をひどく火傷したの。」  
「ほら、ジルとラフの本当の話が出てきはじめているよ！ 君は僕にラフのことを本当の自分の言葉で話してくれているし、僕は君の感じていることを察することができる。ラフのことを書いたとき、そういうふうには語っていたかい？ 君の書いたものを、もう一度読んでみよう。」  
そうしたあと、ジルはこういった。「かなりつまらないわね、あんまり私らしくない！」  
「もし君が話していたように書いたとしたら、どういう風になると思うかい？」  
「物語のようになるでしょうね、多分。」  
「やってごらん、そしてどうなるか見てみよう。ラフについて自分の言葉で僕に話してごらん。それに、グリルからホットドックを盗った話は、面白い絵になるね？ そういった心の中の絵について話すと、とってもよくなるよ。君が言っていることを僕が絵のように心に描ける時、それをアイデアというんだ。君は物語にイメージと焦点を与えている、そこが僕の気に入っているところなんだ。この作文にはそういうイメージがあるかな？」  
2人は作文をもう一度ざっと読む。ジルは低い声でこう言う。「ここにはイメージは全然ないわね——事実ばかり。」  
「じっくり考えてみて、君がラフについて思いださせる個人的なことのいくつかを書いてみてはどうだい？」  
「そうすべきだと思う？」  
「そうだね、君が話してくれていたとき、ずっと君らしさを感じたよ——どれだけ君が犬をなくして寂しいか、彼のことをどれだけ考えているかといったことをね。」

「そういったことは、何とか書けそうだね。」  
「ちょっとやってみてごらん。そして来週また話し合おう。」  
「スペリングや時制や、文章はどう？ 大丈夫かしら？」とジルが尋ねる。  
「それについては、後回しにしよう。まずはアイデアと、構成と、自分の言葉で書くことを考えてごらん。他のことはあとで考えればいいから。」  
「でも、間違うのは嫌だね」と彼女は打ち明ける。  
「でも、今そんなことを心配するのはいいと思うかい？」  
「わかんない。ただ、悪い点はとりたくないの。」  
「よし」エドはうなずく。「今のところは、さっき言った三つ、アイデアと、構成と、自分の言葉で書くことだけについて、評価することを約束しよう。」  
「それだけ？」  
エドはもう一度うなずく。「それで、君がもし学校の雑誌にこの作文を発表したくなったら……」  
「他の部分に手直しできるってことね？」  
「そう、手直しする時間をあげるよ。」

#### 【ジルが書いた作文】

##### 私の犬

誰でも人生において何か大切なものを持っています。私にとって一番大事なものは、今までは、私の犬でした。彼の名前はラフでした。おじいちゃんの家近くの野原でキャンプをしていたとき、古い納屋の中にいるのを、お兄ちゃんが見つけた。誰かがそこにラフを置き去りにして、ラフはとても弱っていて、死にそうでした。でも、私たちは、看病してラフを元気にし、ママは、少なくともしばらくの間、ラフを飼っていていいと言ってくれました。結局それが10年になりました。

ラフは黒と茶色で、長いしっぽとだらりと下がった耳と、短くて太った顔をしていました。特別な種類の犬ではありませんでした。多くの方は、ラフのことかっこいい犬とは思わなかったでしょうけど、私たちにとってラフは特別でした。

ラフは、しょっちゅうこっけいないたずらをしては、私たちを楽しませました。影に隠れてにわとりを驚かそうとしたけどにわとりにはただのはったりだとわかったのであきらめなくてはなりません。ラフがトラックにはねられたとき、私はもう泣き止むことはないと思いました。お兄ちゃんもラフがいなくなってさみしがっているし、ママだってそうですが、私以上にさみしがることなんて誰にもできません。

資料4 岡本浩子・西岡加名恵・世羅博昭

『総合と教科の確かな学力を育むポートフォリオ評価法・実践編』日本標準, 2004年

資料3-16●読書会を進める力のルーブリック	
5 すばらしい	<p>○生き生きと話し合いに参加し、積極的に意見を述べている。互いの意見を関連づけて意見を述べたり、疑問に思ったことを投げ返したりしながら、話し合いを深めようとしている。話し合いのメンバーにも配慮することができ、発言をうながしたり、声をかけたりするなど、司会者的な役割を果たしている。話し合いの中で、自分の考えが深まってくると喜びを自覚している。</p> <p>○学習の記録に、物語の核心に迫るような論議や、自分の生き方に引きつけて考えた意見・感想などが書かれている。話し合いの様子や成長だけでなく、読書全体の良さについても自分なりに考えたことが書かれている。目次やタイトルなど、学習の記録の整理に工夫が見られる。</p> <p>○話し合いを観察していた友達からの評価も高く、評価規準の高いレベルにある相互評価カードを多くもっている。</p>
4 よい	<p>○話し合いにおける発言回数がだんだん増えてきている。台本型手引きのことはまねながら、話し合いを整理したり、話題を転じたりするために発言しようとしている。発言の少ない者への声をしようとしている。</p> <p>○学習の記録に、自分の物語の読みがどう深まってきたのか、読書会で話し合いの様子はどう成長したかということが記されている。学習の記録が手順に従って整理されている。</p> <p>○話し合いを観察していた友達から、多くの相互評価カードをもらっている。</p>
3 普通	<p>○20分程度の読書会を続け、言うべきときには意見を述べることができ、相手の発言に関心をもって聞き、質問したり感想を述べたりして、相手の発言にかかわっている。</p> <p>○学習の手引きに示されたことをもとに、自分が物語をどう読んできたか、読書会での話し合いの様子はどうかであったかということが書かれている。学習の記録が手順に従って整理されている。</p> <p>○友達から相互評価カードをいくつももらうことができている。</p>
2 あと一歩	<p>○読書会の初めのうちは単発的に感想を述べることができているが、中盤以降は、なかなか話し合いの中に入っていくことができない。友達に促されて意見を述べることがあるが、周囲の友達や教師の助けが必要である。</p> <p>○学習の記録が不揃いで、(何について話し合ったかという)読書会記録等が書かれていない部分がある。ここがよかった、ここがよかったといったような単発的な内容が記されている。</p> <p>○「前の時間より発言が増えた」といったような、毎時間の成長を認める相互評価カードはもらっているが、授業のねらいに応じたより高いレベルの相互評価カードはもらえていない。相互評価カードの数も少ない。</p>
1 努力が必要	<p>○話し合いの場に出て友達の話を聞いているが、友達の発言に反応したり、自分から発言したりしていない。</p> <p>○学習の記録がほとんど整理されたり、書かれたりしていない。</p> <p>○相互評価カードがほとんどもらえていない。</p>

## 第4節 単元末の総括的評価 —子どもの力をどうとらえ、どう評定するか—

この単元の当初では、話し合うことに関して資料3-15のような評価規準を念頭においていた。

単元末に、①話し合っている姿の観察と指導の履歴、②学習の記録として冊子(中期ポートフォリオ)、③話し合いの相互評価カードの三つを総合して、その単元で一人ひとりの子どもにどのような力がついたらかを評価していく。読書会が場面ごとに繰り返行われたり、発展教材についての読書会も行われたりしたため、ある程度、教師が直接子どもたちの話し合う姿をと

資料3-15●話し合いの評価規準	
観点1	話し合いの話題をとらえ、それないように話し合いを続ける。 A: 話の展開をとらえながら、話し合いが豊かになるように発言している。 B: 話し合いの展開にそった発言をしている。 C: 口が重く、感想等を述べるのに支障が必要である。
観点2	発言の内容を整理したり、必要に応じて話題を転じたりしながら話し合いを深める。 A: 互いの意見を整理し、建設的な意見を述べる。互いの読みが深まるよう、司会者的な役割を果たそうとしている。 B: 台本型手引きをまねながら、互いの意見を整理したり、話題を転じたりするための発言をしている。 C: 思いつづままの発言で、話し合いを振り回している。
観点3	複数の読書や話の関連を考えたり、自分にとつての意味を考えながら聞く。 A: 互いの発言を関連づけながら、その意味を見いだそうとしている。 B: 互いの発言の関連性を考えている。 C: 個々の発言の大体の内容は聞き取れている。
観点4	話し合うことによって、さらに自分の考えを確かにする。 A: 自分にとつての意味を考えながら聞いたり、自分の考えがより深いものになるように発言したりする。 B: 話し合うことによって、自分の考えがはっきりしてくることに気づいている。 C: 一つひとつの意見に興味をもって聞いているが、話し合いの全体をとらえ自分の考えをもつてまではいっていない。

2008年度 社会科教育法Ⅰ  
第1回 オリエンテーション  
(西岡加名恵、2008年4月11日)

3. 本科目における課題の概観図

② 私が考案した評価問題集と学力評価計画

① 評価問題集づくり  
新任教師であるあなたは、様々な評価法を考案することは、授業において生徒たちに問いかける発問を考える上でも役立つことに気づきました。そこで、一つの単元に焦点をあてて、できるだけたくさん種類の問題を作ってみてください。

② 学力評価計画づくり  
教師となったあなたは、ある日、期末テストの作成を任せられることとなりました。試験範囲を調べ、生徒たちの学力がバランスよく評価できるように学力評価計画を立ててください。

③-A 「本時の指導案」づくり  
新任教師であるあなたは、生徒たちが生き生きと参加してくれて、しかも本質的な内容を理解してくれているような授業をしたいと考えています。そのために目標を構造化して授業を考案して実践してください。

→ 模擬授業  
<最終的には次のものを提出すること>

- ◎ 板書授業の振り返り
- ◎ 模擬授業評価のルーブリック
- ◎ 「本時の指導案」
- その他の資料

③-B 先行実践例の比較研究  
教師となったあなたは、勤務校の公開研究会で研究授業をすることになりました。公開する単元の指導案を作る前に、同じ単元について、今までにどのような実践事例があるのかを調べなくてはなりません。好きな単元を一つ選び、先行実践例3つを比較して、それぞれの特徴・長所・短所を分析し、研究授業にどのようなアイデアを取り入れられそうか、提案しなさい。

④ 「逆向き設計」論に基づく「単元指導案」づくり  
教師となったあなたは、勤務校の公開研究会で研究授業をすることになりました。今回の研究発表会では、「逆向き設計」論にもとづいて、魅力的かつ列真的な単元設計を提案することが求められています。自分の好きな学年・教科の単元を一つ選び、「逆向き設計」論にもとづく単元指導案を作成してください。

<最終的には次のものを提出すること。>

- ◎ 考案レポート～社会科教育をめぐる論点を踏まえて
- ◎ 単元指導案
- ◎ パフォーマンス課題の模範作品例とルーブリック
- その他の資料

⑤ 「ポートフォリオ」：毎回の授業の要点と疑問点を書きましよう。

⑥ ①、⑤ パフォーマンス・ポートフォリオの完成  
1年間の資料を整理し、表紙と「はじめに」を付して、パフォーマンス・ポートフォリオを完成させて提出してください。

② 模擬授業 評価用ルーブリック

班 所属・回生 氏名

	ストーリーのある 授業展開	魅力的な パフォーマンス	準備の緻密さ	グループワーク	授業後の振り返り
よ！ 名人芸！！ (特優)	「優」の条件に加え、わくわくする上に、「眼から鱗が落ちる」ような発見のある授業となっている。 ( ) ( )	「優」の条件に加え、生徒の多彩な反応に対し、臨機応変に対応できる。笑いを取るなど、ぐっと関心を引く語り口。 ( ) ( )	「優」の条件に加え、教材や指導法に関して独自の調査を行い、独特な工夫が計画されている。 ( ) ( )	「優」の条件に加え、各自の違いや対立をも乗り越え、新しい発想を生み出している。深い相互理解がある。 ( ) ( )	「優」の条件に加え、改善案が指導案に書き加えられている。設定された次の目標に対応した努力を始めている。 ( ) ( )
すばらしいっ！ (優)	目標が明確に焦点づけられて設定されており、それに対応する主発問がある。魅力的な導入、展開と続き、まとめではそれらが総合されて納得のいく結論が出る。 ( ) ( )	はきはきとした魅力的な語り口。教室にいる生徒も「先生が見てくれている」と感じられるような目線の動き。板書は、字も美しく、わかりやすい構成。 ( ) ( )	指導案の導入・展開・まとめが的確に計画されている。指導言や板書、教材などが、前密に計画されている。生徒の多彩な反応も想定し、対応策を考えている。 ( ) ( )	各自がそれぞれの知見、発想やこだわりを活かしあっている。熱心に話し合いがなされ、適切な役割分担がなされる。 ( ) ( )	自己評価、相互評価、ビデオなどの資料にもとづき、確かな振り返りが行われ、次の目標が具体的なかつ明確に設定されている。 ( ) ( )
満足のいく出来ですね。 (良)	目標が明確に設定されており、対応する発問が用意されている。授業中、納得のいく説明が行われる。 ( ) ( )	よく聞こえる声で話したりと話す。目標にも気を配っている様子が見られる。板書の構成がわかりやすい。 ( ) ( )	指導案の基本的な骨格が出来上がっている。指導言や板書が具体的に考えられている。 ( ) ( )	各自が必要な責任を果たしている。 ( ) ( )	自己評価、相互評価、ビデオなどの資料にもとづき、振り返りと次の目標設定が行われている。 ( ) ( )
合格。 (可)	一応、1時間の授業として成立している。 ( ) ( )	聞こえる声で話している。板書も読める文字で書かれている。 ( ) ( )	一応、指導案が用意されている。 ( ) ( )	一応、必要な作業は行われているが、グループの誰かに任せっぱなし。 ( ) ( )	提出資料がそろっており、一応、簡単な振り返りが書かれている。 ( ) ( )
単位は、あげられないなあ。 (不可)	途中で授業が破綻してしまう。 ( ) ( )	うつむいて、ボンボン話していて、よく聞こえない。板書も滅茶苦茶。 ( ) ( )	指導案が用意されていない。 ( ) ( )	グループ内で喧嘩別れ。連絡もなく、行方不明。 ( ) ( )	振り返りが書かれていない。 ( ) ( )

\*色ペンで( )に丸を書き込むこと。1つ目の( )：自己評価、2つ目の( )：次の自己目標。

教科名	これまでの主な成果	確認された課題	今回の指導案作成に関する目標
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文学的文章(読む)、創作詩(書く)、スピーチ(話す)でパフォーマンス課題を開発した。2年は、1年の指導過程の延長線でのパフォーマンス課題に取り組んだ。スピーチ(情報)を聞き、メモを取って、「お知らせプリント」に再構成するという課題である。3年は、文学的文章の表現を生かしての修学旅行作文(旅行に行っていない先生に、いかにわかりやすく伝えるか——描写と叙述の工夫)が中心である。*ただし、叙述・描写は今回の指導要領で削減された指導事項(発展)である。</li> <li>・ 3年間の長期的見直しをもって、個々の単元の目標を明確にするという発想が生まれた。</li> <li>・ 教科横断的に役立つような「教科書の読み方」を教えるという課題が浮かび上がった。</li> <li>・ 地理的分野(世界の国々)、歴史的分野(古代、開国、大正デモクラシー)、公民(人権)の単元において、パフォーマンス課題を開発した。</li> <li>・ パフォーマンス課題を導入することにより、知識・暗記中心の授業から考える授業へ転換する一助となった。</li> <li>・ パフォーマンス課題を用いていない一般の授業を進めるときも、授業のねらいを再確認することになった。</li> <li>・ 地理・歴史・公民の相互関連を考える一助となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年生までには、自分の意見を、根拠(資料)をあげつつまとめることができるよう育てたい。それには、教師が整理した板書を写させる授業ではなく、生徒が自力で説明文を読み、書く機会を、授業の中で与えることが必要である。</li> <li>・ 生徒が自分で探究するための前提となる基礎基本となるものを、教科会として確定する。</li> <li>・ 生徒に考えさせるものとなる適切な資料を集める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年生においては、情報を整理して他者に伝える力(まとめたり分け、見出しをつける力)をしつかりと身につけさせる。</li> <li>・ 教材として、社会科の教科書を用いる。</li> <li>・ 教科書や資料集の資料を自分で読み取り、それを社会の仕組みと関連付けて、適切に選択し活用していく力を身につけさせる授業を行う。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年は「正の数・負の数」「比例・反比例」、2年「式と計算」「連立方程式」「合同と証明」、3年「平方根」の単元について、パフォーマンス課題を開発した。</li> <li>・ 3年間を通して単元間のつながりが見えてきた。</li> <li>・ 生徒の作品分析に基づき、生徒の学力実態や特性が見えてきた。</li> <li>・ パフォーマンス課題については、必ずしもGRASPSのシナリオは必要ないと考える。</li> <li>・ パフォーマンス課題は、すべての単元について用いているよりも、適切な単元に絞る方がいいのではないかと考え始めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 根拠にもとづき説明する力を育成するための指導方法の開発。</li> <li>・ 純粋数学に惹かれる生徒と、生活との関連づけに関心を持つ生徒など、生徒の多様性に応じた、多彩な課題の開発。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年「比例と反比例」、2年「一次関数」、3年「関数 <math>y=ax^2</math>」のそれぞれの単元は、3年間を通して関連領域として、「本質的な問い」「永続的理解」は同じ捉え方をしている。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 化学2章 物質のすがた「メダルの識別」「アンモニアの噴水実験」、生物5章 生物の細胞と生殖「アサガオの一生」1章「植物の生活と種類」「水の通り道」「植物と環境」、地球6章 地球と宇宙「星の日周運動」「星の年周運動」などのパフォーマンス課題を作成した。</li> <li>・ 衣笠中生徒の学力実態として、知識の習得はできるが、その活用が出来る生徒が少ないことがわかった。そのような経験が少ないことが、原因の一つとしてあげられるだろう。</li> <li>・ 物質の本質(出題の意図するところ)を捉えることが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の力を適切に引き出せる文脈や内容のパフォーマンス課題を、どうすれば作れるのか。</li> <li>・ 文章以外に図・絵やグラフなどを表現方法として身につける指導の工夫。</li> <li>・ 知識や技能を使って、問題を解決させる場面をつくる指導。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図を使って説明させるパフォーマンス課題を作る。</li> <li>・ 文章以外に図やグラフなどを書かせる授業を意図的に設定する。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実技教科なので、表現領域では実技によるパフォーマンス課題をこれまでも行ってきた。さらに「永続的理解」という長期的な見直しを持つことで、効果的な指導が可能になると考えられる。</li> <li>・ 授業時数が限られているので、3年生でまとめたパフォーマンス課題に取り組む力を育てよう、1・2年生から積み上げていくという発想が生まれた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科の独自性を考えて、生徒の持つ力やセンスを伸ばしていきたいような、長期的ルーブリックを考えたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽のイメージは、歌唱、音の高低や強弱、伴奏のリズム、和音進行の変化などから捉えられ、理解させる。</li> </ul>
音楽			